

いよいよ12月ですよ！

今日から12月です。今年も残りひと月になりました。本格的な冬を前にしてインフルエンザ流行が流行しています。受験勉強には気力も体力も必要です。そのためには健康管理が大切です。人生に一度しかない高校入試まで90日あまりです。学校では三者面談が始まり志望校を決めるような話しがされます。が自分の第一志望校に向かつてまだ90日も勉強できるのです。最終的な決定は倍率発表後の2月に決めればいいのです。高校入試でその後の人生が決まるわけではありませんが、それに向かう姿勢と経験はとても大事なことです。今後のAI社会では確実に格差が広がります。そんな社会で生きていかなければならない皆さんは、AIではできないことを自分の目標や夢としている関心を持ち積極的に向かって頑張る必要があります。また、NET上にあふれる情報が正しいもの



11/18 中3生の道コン

道コンの見直し



11月は中・高ともに定期テストなのでテスト勉強



目指せ目指せ高専！



26期生の山上彩夏さんは教4期生で大学卒業後長年J育大学で支援教員目指してAFにいましたが一念発起勉強中です。共業小にお手し保険の仕事をした内藤裕孝君が久しぶりに。

かどうかを判断する力も必要です。将来、あの時(今です)がんばって良かったと思う日が必ず来ます。(塾の卒業生はみんなそう言ってます) 自分の人生です。悔いを残さないようにです！

**今夏の猛暑受け北海道教委が夏休み延長へ**  
「全国並み」の日数に

札幌市では今夏、最高気温が観測開始以降最高の36.3度を記録した

23年8月23日、札幌市中央区大通西3丁目

今夏の記録的な猛暑を受けて北海道教育委員会は22日、道立学校の夏休み期間を延長できるように管理規則を改正した。夏休みと冬休みの休業日数をこれまでの「50日以内」から全国並みの「56日以内」に増やし、現場の判断で柔軟に夏休みを延長できるようにする。施行は来年4月1日。対象は道立高校と特別支援学校などが、市町村立の小、中学校も道立学校に合わせて夏休みを延長する動きが見込まれる。

今回の改正では、夏と冬の合計休業日数を増やすことに加え、夏と冬の休業は「25日以内」としていたルールを「校長が定める期間」に変更する。今年、札幌市で観測史上最高の36.3度まで気温が上がると全国並みの暑さを記録した北海道の夏に対応するため、現場の判断で夏休み期間を延長できるようにする狙いがある。

休業の総日数は都道府県教委が規則で定めている。道教委によると全国的には「56日以内」とする都府県が最も多いという。

**◆全国高専ロボコン**  
学生たちが工夫凝らし技術力を競う

朝日新聞デジタル 23年11月23日

「全国高等専門学校ロボットコンテスト」が11月26日、東京 両国の国技館で開かれ、学生たちが工夫を凝らしたロボットで技術力を競っていました。

この大会は全国の高等専門学校やエズが毎年開いていて、会場の国技館には全国124チームの中から地区大会を勝ち抜いた27チームが集まりました。

競技は「もぎもぎ！フルーツGOラウンド」をテーマに、2分半の制限時間でロボットを操作して、障害物乗り越えて進み、高い場所からつるされたフルーツに見立てたボールを獲得するアイデアを競います。

会場では車輪で障害物の段差を乗り越えるロボットや、高い車体で一斉にフルーツを取るロボットの動きに多くの歓声が送られました。

決勝戦では、コンパクトな車体で素早く動き、アームを伸ばしてたくさんのお菓子を獲得した大阪公立高専が、熊本高専八代キャンパスを破って優勝しました。

また、最も優れたアイデアに贈られる「ロボコン大賞」は、2つのアームでフルーツをもぎとる工夫をみせた長岡高専が受賞しました。

28回から冬期講座が始まります！  
中1、2年は3時間、中3は4時間プラス  
何時間でも(最長9時間)。  
定期テストの結果が良くなかった人は何が問題だったのかをしっかりと確認し、今までの学習での弱点の克服を心がけましょう。  
成績の良し悪しは頭が良いかどうかではありません。塾で見ていると取り組む姿勢の差がそのまま結果に表れています。  
よく寝ている生徒やただ終わればよいという姿勢で勉強しているのでは塾に来ていて意味がありません。  
何事も積み重ねることが結果に繋がるので、冬期講座を真剣に取り組みしましょう！

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
年末年始休み	年末年始休み	◆冬期講座(16時終)	◆冬期講座(18時終)	◆冬期講座(18時終)	◆冬期講座(18時終)	◆冬期講座(18時終)	◆冬期講座(18時終)	◆冬期講座スタート(16時終)	◆冬期講座準備休み					休塾							休塾		◆遠矢中定期					休塾		
																	共通テストまであと42日													
																	公立高校入試まであと95日													
																	12月の予定													

大きな声であいさつを！  
過保護・過干渉は子供をダメに！

## 『学校に泊まりたい』実現した小4の試み



夜の学校に4年3組の子どもたちが集まってきた

=東京都武蔵野市立境南小学校で10月27日

10月下旬の金曜日、西の空が夕焼けに染まる午後5時。小学校に子どもたちが続々と登校してくる。ランドセルの代わりにリュックサックを背負って。いつもと違う夜の学校。「めっちゃ楽しみ～」と顔を見合わせ、ワクワクが隠せない。

この日は、東京都武蔵野市立境南小学校4年3組の子どもたちが待ちに待った“学校に泊まる日”。総合的な学習の時間で、子どもたちが企画、計画、実行を担った。

総合的な学習の時間といえば、4年生で福祉、5年生で田植えなど、毎年同じ内容を繰り返す学校も多い。だが、境南小は市のモデル校だったこともあり、総合的な学習の時間に力を入れている。クラスごとにテーマを決めて取り組むのが特徴で、「何がしたい？」という問いから授業が始まる。

4年3組は「クラスみんなで最高の思い出を作りたい」と「学校に泊まる」案に決めた。

「さすがにそれは、ちょっと無理じゃない?」。担任の岩瀬裕子主任教諭は、そんな言葉が口から出かかった。

岩瀬主任教諭は境南小に来る前、既に決められた内容を総合的な学習の時間で教えていた。「やらせてる感があり、すごく苦しかった。楽ではあるけれど、つまらないと思っていました」と明かす。



晩ご飯はカレーライス=東京都武蔵野市立境南小学校で10月27日

「子どもたちの『やりたい』という思いの中には、必ず学びの価値がある。この学校でそれができないなら、じゃあ総合的な学習の時間って何?と思いました」

子どもたちの学ぶ力を信頼して、案を後押しすることを決めた。

校長室で「情熱のプレゼン」

ハードルは高かった。

子どもたちは許可を得るため、何度も校長室を訪れた。だが、杉谷努校長は突き返した。

「何で泊まりたいの? 狙いは?」「地震が起きたらどうするの?」「全員の保護者がOKしてくれるの?」

子どもたち自身で考えて、課題を解決する経験をさせたかった。それに立场上、リスクを考えたら、「こんなこと本当にやっていいのか」というのが本音だ。「これだけ言ったら、諦めることもあるかな?」



夜の学校に、4年3組の子どもたちが登校してきた10月27日

だが、子どもたちは違った。

入浴は、学校に一番近い銭湯は改修工事の予定があって断られたものの、インターネットで別の銭湯を探し、すいている時間帯に分散して入ることで許可を得た。

寝具は、グーグルフォームでアンケートを作り、寝袋を貸してもらえ家庭を校内から募った。

食材は、昨年の社会科見学で訪れた地元農家に、規格外の小さな野菜を譲ってもらえないか依頼した。

7月末の保護者会。子どもたち自ら、宿泊の意図やスケジュールをパワーポイントでプレゼン。全保護者に配布する同意書も作成した。

子どもたちは次々に、出来る方法を考えては課題をクリアし、校長室にプレゼンにやってきた。杉谷校長は「とにかくやり遂げようとするんですよ。その情熱に負けました」

「本当に泊まれたね、先生」

「銭湯に行くの初めて」

「気持ちよかった、体がほかほか」

銭湯からの帰り道、つやつやした顔で満足げな表情を浮かべる子どもたち。



宿泊に向けて、課題を付箋に書き出し、クリアしていった10月下旬

晩ご飯はカレーライス。慣れた手つきで包丁を使う子もいれば、必死にピーラーでジャガイモの皮をむく子もいる。「いただきます」の声は、ひとときわ学校中に響き、あつという間に全員が完食した。

一番のお楽しみは、夜の学校探検だ。

5人1組で、懐中電灯を手に真っ暗な教室を回る。屋上で天体観測をした時、ある子が岩瀬主任教諭にポツリと言った。「本当に泊まれたね、先生」。その顔は、達成感に満ちていた。

「子どもたちも自信がついたんじゃないでしょうか。周りから無理だと思われることでも、やってみたら何とかなる。そう思ってもらえたらうれしい」

子どもたちが決めた目標、信じて見守る

杉谷校長は振り返る。「今回の授業を通して、子どもたちは、地域の方や友達などいろいろな人と関わり、課題を解決することができた。どれも1人では無理なことです。そうやって共に高め合うことができるのが、学校の良さですね」

岩瀬主任教諭はこう口にした。「最低限の知識や技能を保証してあげるのは、教員の責任。それと同時に、ほとんどの仕事がAI(人工知能)やロボットに取って代わる時代を生きる子どもたちにとって、こうした授業は、生きる力につながると思うのです」

自分で決めたワクワクする目標があれば、力を最大限に発揮できる。それを4年3組の子どもたちは体現した。その芽をつぶさず、信じて見守るのは難しいけれど、きっと大人も楽しい。

夜、子どもと一緒にカレーライスを食べる教員の笑顔が、それを物語っていた。

【デジタル報道グループ・大沢瑞季】

毎日新聞 2023/11/16

武蔵野市立境南小学校4年3組の子どもたちすごいですねえ!

子どもたちもそうですけど、それを実現させた担任の先生、校長先生の決断にも拍手です。

岩瀬主任教諭の言っている「最低限の知識や技能を保証してあげるのは、教員の責任。それと同時に、ほとんどの仕事がAI(人工知能)やロボットに取って代わる時代を生きる子どもたちにとって、こうした授業は、生きる力につながると思うのです」まったくその通りです。

この地域の生徒も学校もそういう意識を持ってほしいですね!